

低炭素杯 2014 報告書 目次

はじめに	1
挨拶	11
実行委員会委員長 小宮山 宏	
環境副大臣 北川 知克	
概要	12
実施体制	
低炭素杯2014開催までの経緯	
低炭素杯2014プログラムの概要	
当日企画について	17
共催・協賛・協力企業/団体ブース	
出場団体ブース	
低炭素杯2014トロフィー	
地域協同ワークショップ写真展	
地域協同ワークショップ概要	20
表彰について	21
受賞団体一覧	
ファイナリストのプレゼンテーション	24
各賞受賞団体	
地域活動部門/企業活動部門/パートナーシップ部門/学生活動部門	
講評	65
企画・審査委員会委員長 金谷 年展	
団体間交流会	66
特別シンポジウム(同時開催)	67
パネルディスカッション要旨 ～低炭素最前線から学ぼう！ CO2削減『日本一』大集合！～	
基調講演要旨 ～『里山資本主義』のススメ～	
全体ディスカッション	
全体総括	82
実行委員会副委員長 川北 秀人	
【資料集】	
組織と運営体制	84
低炭素杯2014組織図	
低炭素杯2014参加人数とエントリーフロー	
広報等実績一覧	86
来場者募集に係わる広報実績	
環境省の報道発表資料	
低炭素杯2014実行委員会事務局の報道発表資料	
低炭素杯2014ウェブサイト	
広報に係わる作成物	
共催・協賛・協力企業/団体による広報	
メディアの主な掲載一覧(日付順)	
低炭素杯2014ファイナリストへのアンケート	101
一般審査員からのコメント	105
寄付一覧	106



Carbon Offset Certificate

カーボン・オフセット証書

2014年1月30日

低炭素杯2014 実行委員会 殿
東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4階

Low Carbon Cup 2014 Executive Committee
4F, Daiichi-Amaj BLDG., 1-12-3, Kandanshiki-Cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

貴殿との間で締結した業務委託契約に基づき、カーボン・オフセットの手続きが完了したことを下記に証明します。

Certified as below that you have completed the procedure of carbon offset on the basis of our consignment contract.

オフセット対象 Boundary	低炭素杯 2014 の会場での電力使用に伴い発生する CO2 排出量の一部
クレジットの種類 Credit Type	国内クレジット
クレジットの数量 Amount of Credits	2 t-CO ₂
クレジットの無効化方法 Invalidity type	経済産業省 国内クレジット用償却口座へ移転
オフセット行為の完了日 Completion Date of Offset	2014年1月20日
クレジット識別番号 Serial No.	KC-300-000-563-000-289 ~ KC-300-000-563-000-290
プロジェクト名 Project Title	東日本大震災復興支援型国内クレジット (食品工場におけるボイラー効率化による排出削減事業)
プロジェクト番号 Project No.	8056301
プロジェクトタイプ Sectoral Scale	ボイラー更新
プロジェクトの排出削減・吸収量 Amount of Reductions	642 t-CO ₂



ID:140100145

株式会社イトーキ

大阪市城東区今福東1-4-12 〒536-0002



カーボン・オフセット(東日本大震災復興支援型国内クレジット)を活用しています。